

II.事業評価個表（元年度）

番号	措置名	交付金事業名				
1	公共施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道建部町大田26号線ほか舗装修繕事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山市				
交付金事業実施場所		岡山市北区建部町大田・中田地内				
交付金事業の概要		<p>市道建部町大田26号線は、赤磐市と国道53号を結ぶ主要な連絡道で、道路改築後40年を経ており路面は大きな亀裂・轍等が来ており通行車両がハンドルを取られ対向車と衝突を起こしそうになることがしばしば起きておりますので、地元町内会及び道路利用者から度々舗装修繕の苦情が寄せられております。また、市道建部町中田西原線は国道53号より高梁市・新見市等北西部へ行く短絡道として大型車の通行量が非常に多くなってきており、轍・大きな亀甲が出来ており二輪車の通行が危険にさらされている状況であるため、舗装を修繕するものです。</p> <p>舗装工(オーバーレイ) 延長L=320.0m 面積A=1,828㎡ t=3cm(1工区(市道建部町大田26号線)L=202.0m,A=1,439㎡・2工区(市道建部町中田西原線)L=118.0m,A=389㎡)</p>				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】 市道建部町大田26号線及び市道建部町中田西原線は、長年の効用により路面に亀甲状のひび割れ、大きな轍が多数あり、劣化が顕著。通行車両等にとって大変危険が伴う状況。地域住民から修繕工事の強い要望があることから、舗装改修工事を実施。</p> <p>【目標】 工事終了後の大田地区3町内会と中田地区及び西原地区町内会の満足度100%(回答数5町内会)</p>				
事業開始年度		令和元年度		事業終了(予定)年度 令和元年度		
事業期間の設定理由		—				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和元年度	
		工事終了後の大田地区3町内会と中田地区及び西原地区町内会の満足度100%	大田地区の町内会長3人と中田地区及び西原地区町内会長2人と各町内会連絡員33人の合計38人に聞き取り調査を行い、満足度100%を計ります。 満足と回答した人の割合 満足と回答した人の人数 38/38名 ×100	成果実績	%	100
			目標値	%	100	
			達成度	%	100	
		評価年度の設定理由				
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため				
交付金事業の定性的な成果及び評価等						
<p>市道建部町中田西原線の舗装改修工事は11月に、市道建部町大田26号線は12月に完成し供用しております。改修後は、亀裂や轍等がなくなり地域では交通事故の発生の不安は解消され、また、車や二輪車の運転手は轍等でハンドルをとられる危険がなくなりました。降雨時は水たまりなどもなく、二輪車は安心して安全に通行しています。二輪車等がふらつきもなく通行できるようになったことから、多数通行する大型車におきましても安心して通行できるようになり、当該路線の危険な状況箇所は100%解消されました。この事業で道路が整備されたことについて地域住民に聞き取り調査を行ったところ、交通事故が発生する不安はなくなり非常に感謝しているという声をいただきました。また、通行する運転手に聞き取りを行ったところ、轍等がなくなり安心して運転することができるという意見もありました。今後も交通量が多く危険な状況の道路を優先し整備してまいります。</p>						

	成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	年度	年度
	オーバーレイ工 延長L=320.0m,面積A=1,828㎡,t=3cm 幅員W=3.3~16.6m (1工区(市道建部町大田26号線)W=6.5~16.6m,2 工区(市道建部町中田西原線)W=3.3m)	活動実績	m	320.0		
		活動見込	m	320.0		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	元年度	年度	年度	備考		
	総事業費	6,226,000				
	交付金充当額	4,400,000				
	うち文部科学省分					
	うち経済産業省分	4,400,000				
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)		
	道路舗装改修工事	(1工区:市道建部町大田26号線) 一般競争入札 (2工区:市道建部町中田西原線) 指名競争入札	(1工区:市道建部町大田26号線)誠真工業株式会社(岡山市) (2工区:市道建部町中田西原線)誠真工業株式会社(岡山市)	(1工区:市道建部町大田26号線)4,510,000 (2工区:市道建部町中田西原線)1,716,000		
交付金事業の担当課室	岡山市北区役所建部支所総務民生課					
交付金事業の評価課室	岡山市北区役所建部支所総務民生課					

II.事業評価個表(令和元年度)

番号	措置名	交付金事業名			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	津山市立学校給食センター維持運営事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		津山市			
交付金事業実施場所	津山市草加部(津山市立草加部学校食育センター)				
交付金事業の概要	津山市立草加部学校食育センターの安定的な運営管理のため、令和元年9月分の津山市立草加部学校食育センター給食調理業務委託料に充当します。				
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標	<p>交付金事業に関する主要政策・施策 津山市第5次総合計画(平成28年度～令和7(平成37)年度) まちづくりの大綱Ⅰ 子育て環境の充実と人と文化を育むまちづくり</p> <p>2 次代を担う子どものために</p> <p>1) 義務教育の充実</p> <p>⑥ 学校保健及び学校給食の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが生涯を通じて自主的な健康づくりを実践できるよう、家庭や地域などと連携し、心身の健康教育の充実を図ります。 また、地域の産物や食文化を理解し尊重する心の醸成、生産などに携わる人々の努力や食に対する感謝の念を育み、地域産業の活性化や環境負荷の低減へも配慮しながら、安全・安心でおいしい給食を安定して提供するとともに、食育を推進します。 				
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	令和7(平成37)年度		
事業期間の設定理由	津山市第5次総合計画の終期まで				
交付金事業の概要成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和元年度	
	津山市立草加部学校食育センターの安定的な運営管理を図り、安全・安心でおいしい学校給食を提供する。数値目標としては、学校長が行う給食検食の結果を点数化し、平均4.2点以上とする。	学校長が行う給食検食の結果を点数化(「味付け」、「色・形態・香り」、「一食分の量」、「温度」、「異味異臭」、「異物混入」の各項目ごとに適正な場合を1点とする。6点満点)し、平均4.2点以上	成果実績	点	5.99
			目標値	点	4.2
			達成度	%	142.62%
	評価年度の設定理由				
	交付金事業対象期間内(令和元年9月1日から令和元年9月30日)に行った給食検食を基に評価を実施				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	本交付金の活用により、学校給食センターの安定的運営が確保できました。また、成果指標として設定した給食検食の結果が、平均4.2点以上を達成し、子どもたちへ安全で安心な給食を提供することができました。今後も学校給食センターの安定的な運営と安全・安心の給食を提供することで、電源立地地域である当市の地域振興に寄与するとともに、地域住民の電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与できるものと考えます。				
評価に係る第三者機関の活用の有無					
無					

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	津山市立草加部学校食育センターが給食を提供している市内の小・中学校及び幼稚園数		活動実績	校(園)	18(1)	18(1)	18
			活動見込	校(園)	18(1)	18(1)	18
			達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考			
総事業費(円)	8,370,000	8,325,000	8,325,000				
交付金充当額(円)	6,000,000	6,000,000	6,000,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	6,000,000	6,000,000	6,000,000				
交付金事業の概要契約の概要							
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)			
給食センター 給食調理業務委託		随意契約(技術提案)	株式会社東洋食品(東京都台東区)	499,500,000円 (平成30年8月1日～令和5年7月31日) 令和元年9月分:8,325,000円			
交付金事業の担当課室	津山市学校教育部保健給食課						
交付金事業の評価課室	津山市学校教育部保健給食課						

II.事業評価個表(令和元年度)

番号	措 置 名		交 付 金 事 業 名				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置		給食センター運営事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名			高梁市				
交付金事業実施場所	岡山県高梁市落合町阿部(高梁学校給食センター)、岡山県高梁市川上町地頭(川上学校給食センター)						
交付金事業の概要	児童生徒が毎日を健康でいきいきと生活できるよう、水力発電施設周辺地域内の小中学校に給食を提供している学校給食センター2施設の運営事業(臨時給食調理員18名の賃金5ヵ月分及び12月期末手当)に交付金を活用し、安心安全な学校給食の提供と学校給食を通じた食育を推進します。学校給食の献立は、おいしく食べられることはもちろん、多様な食品の組み合わせや栄養バランスが取れたものになることが求められており、臨時学校給食調理員を任用することにより、学校給食を通じた食育の推進や食物アレルギー対策等を行う上で必要な人員を確保しています。また、地域住民の雇用対策にも一翼を担っています。						
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策と目標	交付金事業に関する主要政策・施策 第2次高梁市教育振興計画(平成28年度～平成32年度) 基本方針2 充実した教育環境を整備します 施策5 学校給食の充実を図ります 施策の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・食育の推進 ・学校給食における食物アレルギー対策 <ul style="list-style-type: none"> ・献立の充実と地産地消の推進 ・学校給食センターの施設・設備と運営の充実 						
事業開始年度	平成29年度		事業終了(予定)年度		令和2年度		
事業期間の設定理由	第2次高梁市教育振興計画の終期まで						
交付金事業の概要成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和元年度	
	事業期間の給食実施日における検食簿の「味付」「色彩・形態」「量」「温度」の4項目の評価が「良」となる日数90%以上	検食簿の4項目全てで「良」とされた日の割合 「良」評価の日/給食実施日 (2施設平均値)	成果実績	%		99.5	
			目標値	%		90.0	
			達成度	%		110.6	
	事業期間の給食実施日における食物アレルギーによる事故ゼロ	事業期間の給食実施日における食物アレルギー事故件数	成果実績	件		0	
			目標値	件		0	
			達成度	%		100.0	
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
本交付金の活用により、水力発電施設周辺地域内の小中学校に給食を提供している学校給食センター2施設の運営事業(臨時給食調理員18名の賃金5ヵ月分及び12月期末手当に充当)を実施し、安心安全な学校給食の提供と学校給食を通じた食育の推進を行うことができました。なお、1名の臨時給食調理員が任用期間途中の6月末での退職となりましたが、8月には人員を補充することができました。次年度に向けても引き続き、学校給食を通じた食育の推進や食物アレルギー対策等を行う上で必要な人員を確保し、安心安全な学校給食の提供と食育の推進を図っていきます。							
評価に係る第三者機関の活用の有無							
無							

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	臨時給食調理員の任用量 任用人数(人)×任用期間(月)		活動実績	人月	76	81	89
			活動見込	人月	80	85	90
			達成度	%	95.0	95.3	98.9
交付金事業の総事業費等	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考			
総事業費(円)	12,653,631	13,303,692	15,466,324				
交付金充当額(円)	10,000,000	10,000,000	10,000,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	10,000,000	10,000,000	10,000,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額(円)	
臨時給食調理員人件費		任用		臨時給食調理員18名		15,466,324	
交付金事業の担当課室	高梁市教育委員会 教育総務課						
交付金事業の評価課室	高梁市教育委員会 教育総務課						

II.事業評価個表(令和元年度)

番号	措置名	交付金事業名			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	小中学校給食共同調理場維持運営事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		新見市			
交付金事業実施場所	新見市新見ほか4件				
交付金事業の概要	市内小中学校給食共同調理場における施設の維持運営費(給食調理員11名2か月分給料(R1.10.1~R1.11.30))				
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策と目標	第2次新見市健康増進計画において、小学生、中学生の肥満の割合が増加傾向にあることが課題としてあげられているほか、学校給食運営委員会や給食試食会において、発育に沿った分量や健康によい薄味の給食の提供を保護者から要望されているところです。また、市域が広大である上に寒冷地であるため、特に冬季には輸送中に冷めないよう保温容器を使用したり、調理温度をこまめに管理するなど、温かくおいしい給食を届けられるよう努めます。				
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	令和9年度		
事業期間の設定理由	第2次新見市健康増進計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和元年度
	市内小中学校給食共同調理場において、10月、11月における給食検食簿の「良」評価割合の平均が、味付け・分量・盛り付けそれぞれにおいて80%を超えること。	(10月、11月給食検食簿の学校ごとの「良」の割合)×100/(10月、11月の給食検食簿総学校数)	成果実績	%	「味付け」の平均:99.7 「分量」の平均:100.0 「盛り付け」の平均:100.0
			目標値	%	80
			達成度	%	124.6
	評価年度の設定理由				
	事業実施期間終了後、速やかに評価を行い、次年度の事業実施に反映させることで、PDCAサイクルを円滑にするため。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	本交付金を活用することで、市内調理場の10月、11月分調理員人件費を確保することができました。また、味付け・分量・盛り付けの全指標において、目標以上の実績となりました。個別の調理場においても、全指標において「良」評価が97%以上となり、非常に良い結果となっています。今後も引き続き児童・生徒においしく健康的な給食を届けられるようにしていきます。				
評価に係る第三者機関の活用の有無					
無					

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	市内5調理場における調理員雇用量(10月・11月) (雇用人数(人)×雇用期間(月))		活動実績	人月	20	20	22
			活動見込	人月	20	20	22
			達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考			
総事業費(円)	6,508,600	6,547,000	6,532,600				
交付金充当額(円)	6,000,000	6,000,000	6,000,000				
うち文部科学省分	0	0	0				
うち経済産業省分	6,000,000	6,000,000	6,000,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額(円)		
調理員人件費		雇用	調理員11名		6,532,600		
交付金事業の担当課室	新見市教育委員会 学校給食センター						
交付金事業の評価課室	新見市総務部財政課						

II.事業評価個表(令和元年度)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道通見森谷線舗装修繕工事			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		真庭市			
交付金事業実施場所		真庭市黒田地内			
交付金事業の概要		当該市道は地域の生活道路であり、黒田地区から地区外へと結ぶ、自動車の通行できる重要な路線ですが、近年、舗装面の老朽化、除雪作業によりクラックや轍が無数に発生し大変道路環境が悪くなり、部分的な補修では対応できなくなったことなどから全面舗装修繕工事を行うものです。当該路線の舗装修繕工事は当初4年計画で、平成30年度から開始し、令和3年度で完成予定でしたが、本年度工事完了です。 延長L=131.0m、幅員W=2.7～4.6m、舗装工A=417m ² 、区画線工L=129.4m			
交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標		第2次真庭市総合計画(平成27年度～平成32年度) 基本計画 第6節 生活しやすく品格のある都市 第1項 生活の安全安心を高める			
事業開始年度		平成30年度	事業終了(予定)年度		令和元年度
事業期間の設定理由		市の予算都合により複数年度での実施としているため			
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和元年度
	舗装面の修繕を施し、発電用施設周辺の住民が不安なく通行できるよう、環境改善を図り、地域住民の満足度100%を目指します。	満足と回答した人の人数/5人(自治会役員数)	成果実績	%	100
			目標値	%	100
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	事業完了年度に総括的な評価を行う。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	評価に係る第三者機関の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	年度	
	施工率 (現在までの施工延長÷全工事区間延長(348.8 m))		活動実績	%	63.2	100	
			活動見込	%	63.2	100	
			達成度	%	100	100	
交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	年度	備考			
総事業費(円)	1,782,000	1,134,000					
交付金充当額(円)	1,500,000	500,000					
うち文部科学省分	0	0					
うち経済産業省分	1,500,000	500,000					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額(円)		
道路整備		指名競争入札	(有)トシタカ(真庭市)		1,134,000		
交付金事業の担当課室	真庭市建設部建設課						
交付金事業の評価課室	真庭市総合政策部総合政策課						

II.事業評価個表(令和元年度)

番号	措 置 名		交 付 金 事 業 名		
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置		市道高瀬中島線舗装修繕工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		真庭市			
交付金事業実施場所	真庭市惣地内				
交付金事業の概要	市道高瀬中島線は、惣地区と中島地区を結ぶ生活道路となっており、また、本市の観光名所のひとつ「久世トンネル桜」の通りであり、桜の開花時は観光客も大変多く訪れる重要な路線ですが、近年舗装面の老朽化が著しく見られ、部分的な補修では対応できなくなったことなどから全面舗装修繕工事を行うものです。当該路線の修繕工事は2年計画で、平成30年度から開始し令和元年度で完了です。 延長L=140.0m、幅員W=4.20～5.80m、舗装工A=684m ² 、区画線工L=288.7m				
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標	第2次真庭市総合計画(平成27年度～平成32年度) 基本計画 第6節 生活しやすく品格のある都市 第1項 生活の安全安心を高める				
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	令和元年度		
事業期間の設定理由	市の予算都合により複数年度での実施としているため				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和元年度
	舗装面の修繕を施し、発電用施設周辺の住民が不安なく通行できるよう、環境改善を図り、地域住民の満足度100%を目指します。	満足と回答した人の人数/5人(自治会役員数)	成果実績	%	100
			目標値	%	100
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	事業完了年度に総括的な評価を行う。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	評価に係る第三者機関の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度		
	施工率 (現在までの施工延長÷全工事区間延長(461.9 m))		活動実績	%	70	100	
			活動見込	%	70	100	
			達成度	%	100	100	
交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度				備考	
総事業費(円)	4,158,000	3,380,400					
交付金充当額(円)	4,000,000	2,000,000					
うち文部科学省分	0	0					
うち経済産業省分	4,000,000	2,000,000					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額(円)	
道路整備		指名競争入札		(株)岡田組(真庭市)		3,380,400	
交付金事業の担当課室	真庭市建設部建設課						
交付金事業の評価課室	真庭市総合政策部総合政策課						

II.事業評価個表(令和元年度)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名			
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道長坂線舗装修繕工事			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		真庭市			
交付金事業実施場所	真庭市関地内				
交付金事業の概要	当該市道は、長坂・千里地区と主要地方道勝山栗原線を結ぶ重要な生活道路であり、また同地区と国道313号線を最短で結ぶ路線でもあります。しかし近年、舗装面の劣化によりクラックや浸食陥没が発生し、排水施設が設置されていないことによる路肩洗掘もあり、路肩崩落の危険性に対する住民の不安の声もあることから、舗装修繕工事を行うものです。当該路線の舗装修繕工事は当初6年計画で、平成28年度から開始し、令和3年で完了予定でしたが、本年度工事完了です。 延長L=317.0m、幅員W=2.40～2.80m、舗装工A=827m ² 、区画線工L=317.0m、排水構造物工L=14.6m				
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標	第2次真庭市総合計画(平成27年度～平成32年度) 基本計画 第6節 生活しやすく品格のある都市 第1項 生活の安全安心を高める				
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	令和元年度		
事業期間の設定理由	市の予算都合により複数年度での実施としているため				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和元年度
	舗装面の修繕を施し、発電用施設周辺の住民が不安なく通行できるよう、環境改善を図り、地域住民の満足度100%を目指します。	満足と回答した人の人数/5人(自治会役員数)	成果実績	%	100
			目標値	%	100
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	事業完了年度に総括的な評価を行う。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	評価に係る第三者機関の活用の有無				
無					

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	施工率 (現在までの施工延長÷全工事区間延長(657.0 m))		活動実績	%	34	50	100
			活動見込	%	34	50	100
			達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等	平成29年度	平成30年度		令和元年度		備考	
総事業費(円)	3,780,000	3,780,000		2,475,000			
交付金充当額(円)	3,650,000	3,400,000		1,800,000			
うち文部科学省分	0	0		0			
うち経済産業省分	3,650,000	3,400,000		1,800,000			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額(円)	
道路整備		指名競争入札		(有)真庭舗装(真庭市)		2,475,000	
交付金事業の担当課室	真庭市建設部建設課						
交付金事業の評価課室	真庭市総合政策部総合政策課						

II.事業評価個表(令和元年度)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名			
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道新村線道路防災工事			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		真庭市			
交付金事業実施場所	真庭市岡地内				
交付金事業の概要	当該市道は、横部地区と岡地区を結ぶ道路です。また国道313号線を結ぶ重要な生活道路であり、また、市でも最大級のスポーツイベントである「神庭の滝駅伝競走大会」のコースに選ばれるなど、地域活性化の一役を担う路線です。しかし近年、道路法面の風化等により舗装面の落石が発生しており、住民から安全な通行に対し不安の声が寄せられるようになり、防災工事を行うものです。 延長L=77.5m、モルタル吹付工A=595m2、				
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標	第2次真庭市総合計画(平成27年度～平成32年度) 基本計画 第6節 生活しやすく品格のある都市 第1項 生活の安全安心を高める				
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	令和元年度		
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和元年度
	舗装面の修繕を施し、発電用施設周辺の住民が不安なく通行できるよう、環境改善を図り、地域住民の満足度100%を目指します。	満足と回答した人の人数/5人(自治会役員数)	成果実績	%	100
			目標値	%	100
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	事業完了年度に総括的な評価を行う。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	評価に係る第三者機関の活用の有無				
無					

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和元年度	年度	年度
	施工率 (現在までの施工延長÷全工事区間延長(77.5 m))		活動実績	%	100		
			活動見込	%	100		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和元年度	年度		年度	備考		
総事業費(円)	8,184,000						
交付金充当額(円)	6,500,000						
うち文部科学省分	0						
うち経済産業省分	6,500,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額(円)	
防災工事		指名競争入札		(株)大森工務店真庭営業所(真庭市)		8,184,000	
交付金事業の担当課室	真庭市建設部建設課						
交付金事業の評価課室	真庭市総合政策部総合政策課						

II.事業評価個表(令和元年度)

番号	措置名	交付金事業名			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道草加部線舗装修繕工事			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		真庭市			
交付金事業実施場所		真庭市惣地内			
交付金事業の概要		市道草加部線は、惣地区と草加部地区を結ぶ生活道路である。また本市の観光名所のひとつ「久世トンネル桜」の通りであり、桜開花時期は観光客も多く訪れる重要な路線である。しかし、近年舗装面の著しい老朽化が見られ、部分的な補修では対応できなくなり、全面舗装補修の必要が生じた。当該路線の修繕工事は2年計画で、令和元年度から開始し令和2年度で完了予定です。施工延長L=285.0m、幅員W=5.00～5.90m、舗装工A=1,552m ² 、区画線工L=566.4m			
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策と目標		第2次真庭市総合計画(平成27年度～平成32年度) 基本計画 第6節 生活しやすく品格のある都市 第1項 生活の安全安心を高める			
事業開始年度		令和元年度	事業終了(予定)年度		令和元年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の概要成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度
	舗装面の修繕を施し、発電用施設周辺の住民が不安なく通行できるよう、環境改善を図り、地域住民の満足度100%を目指します。	満足と回答した人の人数/5人(自治会役員数)	成果実績	%	100
			目標値	%	100
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	事業完了年度に総括的な評価を行う。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	評価に係る第三者機関の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	年度	年度
	施工率 (現在までの施工延長÷全工事区間延長(285.0m))	活動実績	%	100		
		活動見込	%	100		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和元年度	年度	年度	備考		
総事業費(円)	7,414,000					
交付金充当額(円)	6,200,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	6,200,000					
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)		
	道路整備	指名競争入札	(株)岡田組(真庭市)	7,414,000		
交付金事業の担当課室	真庭市建設部建設課					
交付金事業の評価課室	真庭市総合政策部総合政策課					

II.事業評価個表(令和元年度)

番号	措置名	交付金事業名			
1	地域活性化措置	新庄村保育所維持運営事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		新庄村			
交付金事業実施場所	岡山県真庭郡新庄村				
交付金事業の概要	新庄村保育所の保育士3名分の人件費(令和元年7月1日～令和元年12月31日までの給料及び12月期の期末・勤勉手当)。保育士を確保、育成することで保育サービスの充実を図っており、その財源として、電源立地地域対策交付金を活用しています。				
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【主要政策・施策】 新庄村振興計画(平成22年度～令和元年度) 基本計画 第7章:保健・医療・福祉 第3節:福祉 3-2:地域で子どもを育てる意識の醸成と支援体制の整備 地域で子どもを育てる意識の醸成と支援体制づくりや育児休業や産前産後休暇など、女性が安心して子どもを産み育て易い職場環境をつくっていくことが引き続き重要となっています。今後は、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりのために、医療や福祉、教育、産業などの連携を推進していきます。</p> <p>【目標】 ・病児保育の検討 ・共働きの家庭でも安心して子どもを産み育てられる支援体制</p>				
事業開始年度	平成22年度	事業終了(予定)年度	令和元年度		
事業期間の設定理由	総合計画(新庄村振興計画)の終期まで				
	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和元年度
	保育士を確保・育成することで、村内の共働き世帯等の保育を必要とする子ども全員を保育所で受け入れることができるよう取組を進め、要保育児の入所率100%を目指す。	要保育児の入所率 (入所要保育児数/入所希望要保育児数)	成果実績	%	100
			目標値	%	100
			達成度	%	100
評価年度の設定理由					
成果目標は子どもを安心して産み育てることができる環境を実現するために、恒常的に取り組む必要があり、毎年度評価することとしている。					

交付金事業の概要成果目標 及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	<p>本交付金の活用により、保育所職員3名分の6ヶ月分の給料及び12月期末・勤勉手当を確保することができました。参観日等の機会を捉え、保護者に参観日の感想や保育に対する意見・要望等のアンケートを実施したところ、「十分満足している」という好意的な意見が多く占めています。今後も継続して、保育士を確保、育成していくことで、保護者の満足度を上げていくこととします。</p> <p>なお、昨年度から振興計画の目標に挙げている病児保育にも対応することができており、さらなる保育サービスの充実を図ることができています。</p> <p>また、保育所の運営費の一部は、国の電源立地地域対策交付金を財源としていることを村のHPや広報誌で村民に周知することで、引き続き、地域住民の電源開発への理解促進を図っていく予定です。</p>					
	評価に係る第三者機関の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	保育士の雇用人数	活動実績	人	3	3	3
		活動見込	人	3	3	3
		達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等	平成29年度	平成30年度	令和元年		備考	
	総事業費(円)	4,719,520	5,351,189	5,920,353	15,991,062	
	交付金充当額(円)	4,634,000	4,640,000	4,630,000	13,904,000	
	うち文部科学省分					
	うち経済産業省分	4,634,000	4,640,000	4,630,000	13,904,000	
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額(円)	
	人件費	雇用	-		5,920,353	
交付金事業の担当課室	新庄村保育所					
交付金事業の評価課室	新庄村役場総務企画課					

II.事業評価個表(令和元年度)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道篠坂余川線法面修繕事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鏡野町			
交付金事業実施場所		鏡野町富西谷			
交付金事業の概要		<p>町道篠坂余川線法面修繕工事を実施します。 (法面工 223㎡・落石防止網工 126㎡)</p> <p>町道篠坂余川線の法面(富西谷地区)は経年劣化により既存の法面吹付コンクリートが崩落し、落石の危険性が非常に高く、現在は通行止めの処置を行っています。 このため落石防止対策等を講じる必要があるため、法面修繕工事を実施します。</p>			
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策と目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策 鏡野町第2次総合計画(平成28年度～平成37年度) 4 快適な生活環境の里づくり 4-8 道路網の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先順位の判断により町道の整備を推進するとともに、適切な維持管理を行います。 ・交通安全施設の整備を進めるとともに自然環境や景観に配慮した整備を推進します。 			
事業開始年度		令和元年度	事業終了(予定)年度		令和元年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の概要成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和2年度
	町道篠坂余川線法面からの落石等による事故件数ゼロ件	町道篠坂余川線法面落石事故数(事業完了後2カ月)	成果実績	件	0
			目標値	件	0
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	事業実施年度に工事を行うため、翌年度に評価を実施します。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	本交付金の活用により、町道篠坂余川線法面修繕工事(鏡野町富地区)を実施し、落石事故を防止することが出来ました。今後も、地元住民の安全確保を図っていきます。				
	評価に係る第三者機関の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	年度	年度
	年度内に工事を完了する (実施率)		活動実績	%	100	
			活動見込	%	100	
			達成度	%	100	
交付金事業の総事業費等	令和元年度	年度	年度	備考		
総事業費(円)	21,450,000					
交付金充当額(円)	9,000,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	9,000,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額(円)
工事請負		指名競争入札		(株)河中建設(鏡野町)		21,450,000
交付金事業の担当課室	鏡野町建設課					
交付金事業の評価課室	鏡野町建設課					

II.事業評価個表(令和元年度)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道維持管理作業車両購入事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		美咲町			
交付金事業実施場所	岡山県久米郡美咲町原田 ほか2件				
交付金事業の概要	<p>美咲町は、急峻な地形に該当する中山間地域であり、町道路線は町民の生活に直結しているため、日常の道路パトロール及び地域住民からの連絡により町道の状況を把握し、安全で快適に通行できる道路環境づくりに努めています。中山間地域の特性により町道に木や竹が侵入する事案や、大雨・台風等で自然災害がおこった場合、倒木の件数が非常に多く、高所作業が必要な箇所があります。</p> <p>現状では、リフトダンプ車両を購入しておらず、危険箇所を注意しながら作業しているため時間がかかっている状態です。そのような事態を防止するため、リフトダンプ車を新規購入することで作業を広範囲かつ効率的に実施する必要があります。旭・中央・柵原に一台ずつリフトダンプを整備することにより、自然災害の緊急車両での高所箇所や幅員が狭い箇所について、効率よく広範囲に作業することができます。また、今までの作業時間に平均1時間程度かかっていたものが、30分程度に短縮され、効率的な道路維持が期待できます。リフトダンプ車両を購入することで、木の伐採など高所作業を強いる状況において、広範囲にわたり作業できるため作業効率が向上し、道路環境を良好に保つことができ、地元住民はより安心して通行できるようになります。</p> <p>660cc リフトダンプ P4WD 3台購入</p>				
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策と目標	<p>美咲町第二次振興計画(平成30年度～令和4年度)</p> <p>基本計画 第3章 自然と共生し、安全・安心を感じられる住みやすい幸せなまちづくり</p> <p>第3節 道路網の整備・充実</p>				
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	令和元年度		
事業期間の設定理由					
交付金事業の概要成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和元年度
	リフトダンプ車新規購入による狭所・高所作業における作業効率の向上(作業時間の短縮率 50%)	作業時間の短縮率(車両納品後3ヶ月間の狭所・高所箇所での1㎡あたりの平均作業時間)／従前の同様箇所での1㎡あたりの平均作業時間)	成果実績	%	50
			目標値	%	50
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	本年度納品完了のため				
交付金事業の定性的な成果及び評価等					

		評価に係る第三者機関の活用の有無					
		無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	年度	年度	
	リフトダンプ車の購入(3台)	活動実績		台	3		
		活動見込		台	3		
		達成度		%	100		
交付金事業の総事業費等	令和元年度	年度	年度	年度	備考		
総事業費(円)	4,012,470						
交付金充当額(円)	3,894,540						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	3,894,540						
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額(円)		
	物品売買	随意契約(特命)	池上モータース(美咲町)		4,012,470		
交付金事業の担当課室	美咲町役場建設課						
交付金事業の評価課室	美咲町役場建設課						

II.事業評価個表(元年度)

番号	措置名	交付金事業名					
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道小森高富線 舗装修繕工事					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉備中央町					
交付金事業実施場所		加賀郡吉備中央町 高富字小脇 地内					
交付金事業の概要		当路線は、平成26年度から7年計画で全面的な舗装の修繕を実施し、通行人が安心・安全に通行できる道路となるよう交通網の整備をしています。 工事概要 舗装修繕工事L=270.0m W=3.3~5.4m 舗装工A=1,121㎡					
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】 主要施策は、ありません。 現在、地元から2路線の要望がありますがその中でも、小森高富線は主要道路であり、アスファルト舗装施工後20年余り経ち、路面の老朽化によりワダチ掘れ等が増えたため、全面的な舗装の修繕が必要であることから、小森高富線を選択しました。</p> <p>【危険性概要】 パッチング等応急的な補修を行い維持管理をしてきたが、路面の老朽化によりワダチ掘れ等が増え、走行中にハンドルが取られたり、冬期には、ワダチ掘れにたまった雨水等が凍結して滑りやすくなる等危険な状態となっています。</p> <p>【目標】 工事終了後(令和2年度)の住民満足度100%以上(自治会長へ聞き取り)</p>					
事業開始年度		平成26年度	事業終了(予定)年度		令和2年度		
事業期間の設定理由		完成までに7年を要するため					
交付金事業の概要成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和元年度	
		住民満足度100%を目標とする	関係する高富自治会の会長及び班長4人の計5人に聞き取り、満足と回答した人の割合	成果実績	%	100	
				目標値	%	100	
				達成度	%	100	
		評価年度の設定理由					
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後に評価を実施。					
交付金事業の定性的な成果及び評価等							
計画どおり整備され、全長2,488mのうち2,010mの工事を完了しました。地域住民に電源立地地域対策交付金の財源により実施している旨を伝え、聞き取り調査した結果100%満足の声と、引き続き当事業による整備に期待する声を頂きました。翌年度も今年度同様に当路線を整備し、住民の満足が得られるようにしていきます。							

		評価に係る第三者機関の活用の有無					
		無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	工事の進捗率 完成延長/全体延長 全体延長:2,448m	活動実績		%	59	70	80
		活動見込		%	59	70	80
		達成度		%	100	100	100
交付金事業の総事業費等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考		
	総事業費(円)	4,644,000	4,600,800	4,521,000			
	交付金充当額(円)	4,400,000	4,400,000	4,400,000			
	うち文部科学省分						
	うち経済産業省分	4,400,000	4,400,000	4,400,000			
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額(円)		
	工事の請負	指名競争入札	有限会社 成平建設(岡山市)		4,521,000		
交付金事業の担当課室	吉備中央町建設課						
交付金事業の評価課室	吉備中央町建設課						